

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2022年7月 検針分)

2022年2月～2022年4月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2022年7月 検針分の単位料金は、2022年6月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
5.36 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 140 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2022年6月	(B) 2022年7月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	262.01	267.37	5.36
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	202.95	208.31	5.36

●平均原料価格

	単位	2022年1月 ～ 2022年3月	2022年2月 ～ 2022年4月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	88,180	93,910	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	92,450	97,920	
平均原料価格	円/トン	88,770	94,520	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 94,520 - 46,100 = 48,400 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.084 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2022年7月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	222.65	267.37	44.72
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	163.59	208.31	44.72

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2022年6月	(B) 2022年7月	影響額 (B)-(A)
26	7,447	7,587	140

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)